

会社全資料

生命保険業界 の経営比較

上位
8社

掲載会社・昭和55年
総資産高上位 8 社

200 項目経営比較資料

日本生命保険相互会社
第一生命保険相互会社
住友生命保険相互会社
明治生命保険相互会社
朝日生命保険相互会社
三井生命保険相互会社
太陽生命保険相互会社
安田生命保険相互会社

教育社編 資料産業界 No. 21

資料産業界シリーズ
会社全資料 [21]

生命保険業界 上位8社の経営比較

一九八〇年一二月二十五日 第一刷

定価 三〇〇〇円

編者 教育社

発行者 高森圭介

発行所 株式会社 教育社

販売

教育社出版サービス株式会社

東京都千代田区富士見2-11-10 丸十ビル
電話(03)二六四一五四七七(代) 〒102

製版 日本電算精版株式会社

印刷 株式会社日本制作センター
製本 株式会社大一製本

© 教育社 一九八〇年

著作権法第二十一条により、本書の記事・データの
無断転載・コピーを禁じます。

会社全資料

生命保険業界 の経営比較

**上位
8社**

掲載会社・昭和55年
総資産高上位 8 社

200 項目経営比較資料

日本生命保険相互会社
第一生命保険相互会社
住友生命保険相互会社
明治生命保険相互会社
朝日生命保険相互会社
三井生命保険相互会社
太陽生命保険相互会社
安田生命保険相互会社

教育社編 資料産業界 No. 21

目

次

第1部 生命保険業界とその特性

1 産業としての特徴	11	1 ① 日本經濟と生命保険業	13	7 太陽生命	短満期保険集中の独自路線
2 個別企業の特性	48	1 ② 日本經濟と生命保険業	46	8 安田生命	強固な經營組織体制
3 業界構造と当面する問題	46	1 ③ 日本經濟と生命保険業	44	9 千代田生命	大手復帰を目指す名門
4 競争原理の導入	44	1 ④ 日本經濟と生命保険業	42	10 東邦生命	生存保険分野に焦点
5 競争のための土俵づくり	42	1 ⑤ 日本經濟と生命保険業	40	11 第百生命	貯蓄・保障の両面作戦
6 保険コンシューマリズムの動き	40	1 ⑥ 日本經濟と生命保険業	38	12 協栄生命	特定団体市場を開拓・確保
7 生命保険会社の二つの機能	38	1 ⑦ 日本經濟と生命保険業	37	13 富国生命	株式運用に卓越した手腕
8 生産と販売の同時性	37	1 ⑧ 日本經濟と生命保険業	36	14 大同生命	個人保有で業界8位に躍進
9 相互会社と株式会社の同質化	36	1 ⑨ 日本經濟と生命保険業	34	15 日本団体生命	団体専門から徐々に脱皮
10 第三分野保険の問題	34	1 ⑩ 日本經濟と生命保険業	32	16	太陽生命
1 ① 日本生命	38	1 ② 日本生命	27	17	安田生命
2 ② 第一生命	40	1 ③ 第一生命	24	18	千代田生命
3 ③ 住友生命	42	1 ④ 住友生命	23	19	東邦生命
4 ④ 明治生命	44	1 ⑤ 朝日生命	22	20	第百生命
5 ⑤ 朝日生命	46	1 ⑥ 三井生命	20	21	協栄生命
6 ⑥ 三井生命	48	1 ⑦ 三井生命	19	22	富国生命
7 理論重視の開放的經營姿勢	46	1 ⑧ 三井生命	18	23	大同生命
8 総合市場戦略を強力に推進	44	1 ⑨ 三井生命	17	24	日本団体生命
9 先取精神あふれる伝統会社	42	1 ⑩ 三井生命	16	25	太陽生命
10 徹底した能力主義と積極經營	40	1 ⑪ 三井生命	15	26	安田生命
11 ⑪ 三井生命	38	1 ⑫ 三井生命	14	27	千代田生命
12 ⑫ 三井生命	37	1 ⑬ 三井生命	13	28	東邦生命
13 ⑬ 三井生命	36	1 ⑭ 三井生命	12	29	第百生命
14 ⑭ 三井生命	34	1 ⑮ 三井生命	11	30	協栄生命
15 ⑮ 三井生命	32	1 ⑯ 三井生命	10	31	富国生命
16 ⑯ 三井生命	30	1 ⑰ 三井生命	9	32	大同生命
17 ⑰ 三井生命	28	1 ⑱ 三井生命	8	33	日本団体生命
18 ⑱ 三井生命	27	1 ⑲ 三井生命	7	34	太陽生命
19 ⑲ 三井生命	26	1 ⑳ 三井生命	6	35	安田生命
20 ⑳ 三井生命	25	1 ㉑ 三井生命	5	36	千代田生命
21 ㉑ 三井生命	24	1 ㉒ 三井生命	4	37	東邦生命
22 ㉒ 三井生命	23	1 ㉓ 三井生命	3	38	第百生命
23 ㉓ 三井生命	22	1 ㉔ 三井生命	2	39	協栄生命
24 ㉔ 三井生命	21	1 ㉕ 三井生命	1	40	富国生命
25 ㉕ 三井生命	20	1 ㉖ 三井生命	0	41	大同生命
26 ㉖ 三井生命	19	1 ㉗ 三井生命	-	42	日本団体生命
27 ㉗ 三井生命	18	1 ㉘ 三井生命	-	43	太陽生命
28 ㉙ 三井生命	17	1 ㉚ 三井生命	-	44	安田生命
29 ㉚ 三井生命	16	1 ㉛ 三井生命	-	45	千代田生命
30 ㉛ 三井生命	15	1 ㉜ 三井生命	-	46	東邦生命
31 ㉜ 三井生命	14	1 ㉝ 三井生命	-	47	第百生命
32 ㉝ 三井生命	13	1 ㉞ 三井生命	-	48	協栄生命
33 ㉞ 三井生命	12	1 ㉟ 三井生命	-	49	富国生命
34 ㉟ 三井生命	11	1 ㉟ 三井生命	-	50	大同生命
35 ㉟ 三井生命	10	1 ㉟ 三井生命	-	51	日本団体生命
36 ㉟ 三井生命	9	1 ㉟ 三井生命	-	52	太陽生命
37 ㉟ 三井生命	8	1 ㉟ 三井生命	-	53	安田生命
38 ㉟ 三井生命	7	1 ㉟ 三井生命	-	54	千代田生命
39 ㉟ 三井生命	6	1 ㉟ 三井生命	-	55	東邦生命
40 ㉟ 三井生命	5	1 ㉟ 三井生命	-	56	第百生命
41 ㉟ 三井生命	4	1 ㉟ 三井生命	-	57	協栄生命
42 ㉟ 三井生命	3	1 ㉟ 三井生命	-	58	富国生命
43 ㉟ 三井生命	2	1 ㉟ 三井生命	-	59	大同生命
44 ㉟ 三井生命	1	1 ㉟ 三井生命	-	60	日本団体生命
45 ㉟ 三井生命	0	1 ㉟ 三井生命	-	61	太陽生命
46 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	62	安田生命
47 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	63	千代田生命
48 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	64	東邦生命
49 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	65	第百生命
50 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	66	協栄生命
51 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	67	富国生命
52 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	68	大同生命
53 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	69	日本団体生命
54 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	70	太陽生命
55 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	71	安田生命
56 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	72	千代田生命
57 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	73	東邦生命
58 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	74	第百生命
59 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	75	協栄生命
60 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	76	富国生命
61 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	77	大同生命
62 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	78	日本団体生命
63 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	79	太陽生命
64 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	80	安田生命
65 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	81	千代田生命
66 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	82	東邦生命
67 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	83	第百生命
68 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	84	協栄生命
69 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	85	富国生命
70 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	86	大同生命
71 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	87	日本団体生命
72 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	88	太陽生命
73 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	89	安田生命
74 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	90	千代田生命
75 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	91	東邦生命
76 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	92	第百生命
77 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	93	協栄生命
78 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	94	富国生命
79 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	95	大同生命
80 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	96	日本団体生命
81 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	97	太陽生命
82 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	98	安田生命
83 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	99	千代田生命
84 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	100	東邦生命
85 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	101	第百生命
86 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	102	協栄生命
87 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	103	富国生命
88 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	104	大同生命
89 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	105	日本団体生命
90 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	106	太陽生命
91 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	107	安田生命
92 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	108	千代田生命
93 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	109	東邦生命
94 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	110	第百生命
95 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	111	協栄生命
96 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	112	富国生命
97 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	113	大同生命
98 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	114	日本団体生命
99 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	115	太陽生命
100 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	116	安田生命
101 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	117	千代田生命
102 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	118	東邦生命
103 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	119	第百生命
104 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	120	協栄生命
105 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	121	富国生命
106 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	122	大同生命
107 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	123	日本団体生命
108 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	124	太陽生命
109 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	125	安田生命
110 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	126	千代田生命
111 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	127	東邦生命
112 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	128	第百生命
113 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	129	協栄生命
114 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	130	富国生命
115 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	131	大同生命
116 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	132	日本団体生命
117 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	133	太陽生命
118 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	134	安田生命
119 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	135	千代田生命
120 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	136	東邦生命
121 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	137	第百生命
122 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	138	協栄生命
123 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	139	富国生命
124 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	140	大同生命
125 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	141	日本団体生命
126 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	142	太陽生命
127 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	143	安田生命
128 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	144	千代田生命
129 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	145	東邦生命
130 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	146	第百生命
131 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	147	協栄生命
132 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	148	富国生命
133 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	149	大同生命
134 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	150	日本団体生命
135 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	151	太陽生命
136 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	152	安田生命
137 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	153	千代田生命
138 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	154	東邦生命
139 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	155	第百生命
140 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	156	協栄生命
141 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	157	富国生命
142 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	158	大同生命
143 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	159	日本団体生命
144 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	160	太陽生命
145 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	161	安田生命
146 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	162	千代田生命
147 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	163	東邦生命
148 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	164	第百生命
149 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	165	協栄生命
150 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	166	富国生命
151 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	167	大同生命
152 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	168	日本団体生命
153 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	169	太陽生命
154 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	170	安田生命
155 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	171	千代田生命
156 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	172	東邦生命
157 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	173	第百生命
158 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	174	協栄生命
159 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	175	富国生命
160 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	176	大同生命
161 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	177	日本団体生命
162 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	178	太陽生命
163 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	179	安田生命
164 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	180	千代田生命
165 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	181	東邦生命
166 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	182	第百生命
167 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	183	協栄生命
168 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	184	富国生命
169 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	185	大同生命
170 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	186	日本団体生命
171 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	187	太陽生命
172 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	188	安田生命
173 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	189	千代田生命
174 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	190	東邦生命
175 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	191	第百生命
176 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	192	協栄生命
177 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	193	富国生命
178 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	194	大同生命
179 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	195	日本団体生命
180 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	196	太陽生命
181 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	197	安田生命
182 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	198	千代田生命
183 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	199	東邦生命
184 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	200	第百生命
185 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	201	協栄生命
186 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	202	富国生命
187 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	203	大同生命
188 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	204	日本団体生命
189 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	205	太陽生命
190 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	206	安田生命
191 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	207	千代田生命
192 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	208	東邦生命
193 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	209	第百生命
194 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	210	協栄生命
195 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	211	富国生命
196 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	212	大同生命
197 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	213	日本団体生命
198 ㉟ 三井生命	-	1 ㉟ 三井生命	-	214	太陽生命
199 ㉟ 三井生命	-				

第2部 上位8社比較 経営全資料

1 歴史・本社	83	81
2 規模・成長性	108	107
① 保有契約（個人+団体）全社伸展倍率	106	105
② 標準化率	104	103
③ 第百生命保険相互会社	102	101
④ 協同生命保険株式会社	100	98
⑤ 安田生命保険相互会社	99	96
⑥ 千代田生命保険相互会社	98	94
⑦ 東邦生命保険相互会社	97	92
⑧ 富国生命保険相互会社	96	90
⑨ 大同生命保険相互会社	95	88
⑩ 日本团体生命保険株式会社	94	86
⑪ 第一生命保険相互会社	93	84
⑫ 住友生命保険相互会社	92	83
⑬ 朝日生命保険相互会社	91	83
⑭ 明治生命保険相互会社	90	83
⑮ 太陽生命保険相互会社	89	83
⑯ 安田生命保険相互会社	88	83
⑰ 千代田生命保険相互会社	87	83
⑱ 東邦生命保険相互会社	86	83
⑲ 第百生命保険相互会社	85	83
⑳ 協同生命保険株式会社	84	83
㉑ 富国生命保険相互会社	83	83
㉒ 大同生命保険相互会社	82	83
㉓ 日本团体生命保険株式会社	81	83

*一〇年間で平均八・六六倍の伸び

② 個人保険保有契約高全社伸展倍率

*企業保険市場への進出競争
*熾烈な二位争い

③ 団体保険保有契約高全社伸展倍率

*八社が一兆円超過
*五位に迫る太陽生命

④ 収入保険料全社伸展倍率

*販売戦力指標としての外務員数
*内勤職員数全社伸展倍率

⑤ 総資産全社伸展倍率

*評価される減量經營努力
*新契約テンポの減速

⑥ 実働外務員数全社伸展倍率

*販売戦力指標としての外務員数
*内勤職員数全社伸展倍率

⑦ 販売戦力指標としての外務員数
*内勤職員数全社伸展倍率

⑧ 販売戦力指標としての外務員数
*内勤職員数全社伸展倍率

⑨ 販売戦力指標としての外務員数
*内勤職員数全社伸展倍率

⑩ 販売戦力指標としての外務員数
*内勤職員数全社伸展倍率

⑪ 販売戦力指標としての外務員数
*内勤職員数全社伸展倍率

⑫ 販売戦力指標としての外務員数
*内勤職員数全社伸展倍率

⑬ 販売戦力指標としての外務員数
*内勤職員数全社伸展倍率

⑭ 販売戦力指標としての外務員数
*内勤職員数全社伸展倍率

⑮ 販売戦力指標としての外務員数
*内勤職員数全社伸展倍率

* 日立新契約件数の頭打ち

* 朝日生命が一位を堅持

3-3 個人保険新契約構成比・新契約率	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144
3-4 個人保険新契約増加率																					
3-5 個人保険新契約占率																					
3-6 定期保険新契約構成比																					
3-7 個人保険地域別新契約 (54年度)																					
3-8 個人保険普通死亡保障金額別新契約 (54年度)																					
3-9 個人保険付随保障別新契約 (54年度)																					
3-10 個人保険付隨保障別新契約 (54年度全社)																					
3-11 団体保険新契約 (54年度全社)																					
3-12 団体保険新契約																					
3-13 団体保険新契約の不振																					
3-14 団体保険新契約増加率・新契約率																					
3-15 団体保険新契約占率																					
3-16 団体保険新契約 (54年度)																					
3-17 個人年金保険新契約																					
3-18 *急がれる商品開発																					
3-19 *期待される今後の伸展																					
3-20 団体年金保険新契約増加率																					
3-21 团体年金保険新契約																					
3-22 個人年金保険新契約増加率・占率																					
3-23 団体年金保険新契約占率																					
3-24 団体年金保険新契約 (54年度)																					
3-25 *明治生命が順調に伸展																					
3-26 団体年金保険新契約																					
3-27 財形保険新契約																					
3-28 財形保険新契約増加率																					
3-29 財形保険新契約占率																					
3-30 財形保険新契約 (54年度全社)																					
3-31 保有契約 (54年度全社)																					
3-32 保有契約増加率																					
3-33 保有契約占率																					
3-34 *日本生命が断然トップ																					

7-2 財形保険新契約増加率	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168
7-3 財形保険新契約占率																							
8-1 保有契約 (54年度全社)																							
8-2 保有契約																							
8-3 保有契約増加率																							
8-4 保有契約占率																							
9-1 個人保険保有契約 (54年度全社)																							
9-2 個人保険保有契約																							
9-3 個人保険保有契約増加率																							
9-4 個人保険保有契約占率																							
9-5 定期保険保有契約構成比																							
9-6 個人保険地域別保有契約 (54年度)																							
9-7 個人保険契約年度別保有契約 (54年度)																							
9-8 個人保険付隨保障別保有契約 (54年度)																							
9-9 個人保険付隨保障別保有契約 (54年度全社)																							
9-10 団体保険保有契約																							
9-11 団体保険保有契約増加率																							
9-12 団体保険保有契約占率																							
9-13 *安田生命三位に進出																							
10-1 団体保険保有契約																							
10-2 団体保険保有契約増加率																							
10-3 团体保険保有契約占率																							
10-4 団体保険保有契約																							
11-1 個人年金保険保有契約																							
11-2 個人年金保険保有契約増加率																							
11-3 個人年金保険保有契約占率																							
11-4 個人年金保険保有契約																							
12-1 *今后に期待すべき分野																							

[11] 2	個人年金保険保有契約増加率	170
[11] 3	個人年金保険保有契約占率	171
[12] 1	団体年金保険保有契約	172
[12] 2	*団体年金保険のウエイト増大	173
[12] 2	団体年金保険保有契約増加率	174
[12] 3	団体年金保険保有契約占率	175
[13] 1	財形保険保有契約	176
[13] 2	*朝日生命を追う大手三社	177
[13] 2	財形保険保有契約増加率	178
[13] 3	財形保険保有契約占率	179
[14] 1	個人保険解約・失効契約	180
[14] 1	*三井・朝日の二社が大幅改善	181
[14] 2	個人保険契約解約・失効率	182
[15] 1	団体保険解約・失効契約	183
	*三井・安田の二社が一%を割る	184
4 収 支			185
[1] 1	総合収支（54年度全社）	186
[1] 2	総合収支指數	187
	*三井生命が全社平均指數に劣る	188
[2] 1	保険料収入	189
[2] 2	*五・六位間の厳しい競争	190

[2] 3	保険料収入占率	191
[3] 1	初年度保険料収入	192
[3] 2	*太陽生命が四位	193
[4] 1	初年度保険料収入増加率	194
[4] 2	初年度保険料収入占率	195
[4] 3	次年度以降保険料収入	196
[4] 4	次年度以降保険料収入増加率	197
[4] 4	次年度以降保険料収入占率	198
[5] 1	利息配当金収入と総資産利回り	(53・54年度全社)	199
[5] 2	利息配当金収入	200
[5] 3	利息配当金収入利回り	201
[5] 4	利息配当金収入内訳	202
[5] 5	(現金・預貯金・コールローン)	203
[5] 6	利息配当金収入内訳（有価証券）	204
[5] 7	利息配当金収入内訳（株式）	205
[5] 8	利息配当金収入内訳（財務貸付）	206
[5] 9	利息配当金収入内訳（不動産）	207
[6] 1	保険給付	208
[6] 2	*保険給付で太陽生命が第二位	209
	対収保保険給付割合	210

6-4	給付金の対保険給付占率・増加率	209
7-1	解約その他返戻金	210
7-2	*比較的低水準で安定	
8-1	解約その他返戻金増加率	
8-2	契約者配当金	
9-1	*一兆円台に乗る	
9-2	契約者配当金増加率	211
9-3	事業費	212
9-4	*朝日・三井・安田の改善が顕著	
9-5	事業費率(53・54年度全社)	213
9-6	事業費率	214
10-1	責任準備金	
10-2	内部留保の強化	
11-1	経常利益	220
11-2	*収支残率では安田生命が一位	
12-1	八六条準備金関係損益	222
12-2	*特別配当の重圧続く	
13-1	総合収支	224
14-1	*配当所要額が大きく影響	
14-2	法人税等充当額	226
15-1	*配当率回復の可能性高まる	
15-2	配当準備金繰入	227
16-1	*日生・住友・明治は留保率が高い	228
16-2	役員賞与金	

17	*明治・三井のみ配当引下げに対応	229
18-1	*社会厚生事業等助成金	
18-2	*日生が全社の半分近くを占める	
19-1	*配当率引下げに対応	230
20-1	5 資産運用	231
21-1	*日本生命は五兆円台に	
21-2	①1 総資産	
21-3	*各社とも九九%前後の運用率	
21-4	①2 資産(54年度全社)	232
21-5	①3 総資産増加率	
21-6	①4 総資産占率	233
22-1	②1 運用資産	
22-2	②2 資産運用率	234
23-1	③現金・預貯金・コールローン	235
23-2	*ほぼ一・五%前後に抑制	236
24-1	④1 有価証券	237
24-2	*明治生命が対総資産占率では最高	238
24-3	④2 有価証券内訳	240
24-4	④3 業種別株式保有状況(54年度)	
24-5	⑤1 貸付金	
24-6	*対総資産占率も上昇に転換の兆し	242
24-7	⑤2 業種別融資状況(54年度)	244
24-8	役員賞与金	246

① 関連会社	278	② 主要保険商品	276	③ 親会社依存を脱皮、採算性を重視	275	④ 不動産・動産	268	⑤ 海外投資状況	266	⑥ 地域別融資占率	264	⑦ 増加資産	263	⑧ 増加資産配分状況	262	⑨ 増加資産配分状況	261	⑩ 増加資産配分状況	260	⑪ 増加資産配分状況	259	⑫ 増加資産配分状況	258	⑬ 増加資産配分状況	257	⑭ 増加資産配分状況	256	⑮ 増加資産配分状況	255	⑯ 増加資産配分状況	254	⑰ 増加資産配分状況	253	⑱ 増加資産配分状況	252	⑲ 増加資産配分状況	251	⑳ 増加資産配分状況	250
① 関連会社	278	② 主要保険商品	276	③ 親会社依存を脱皮、採算性を重視	275	④ 不動産・動産	268	⑤ 海外投資状況	266	⑥ 地域別融資占率	264	⑦ 増加資産	263	⑧ 増加資産配分状況	262	⑨ 増加資産配分状況	261	⑩ 増加資産配分状況	260	⑪ 増加資産配分状況	259	⑫ 増加資産配分状況	258	⑬ 増加資産配分状況	257	⑭ 増加資産配分状況	256	⑮ 増加資産配分状況	255	⑯ 増加資産配分状況	254	⑰ 増加資産配分状況	253	⑱ 増加資産配分状況	252	⑲ 増加資産配分状況	251	⑳ 増加資産配分状況	250
① 関連会社	278	② 主要保険商品	276	③ 親会社依存を脱皮、採算性を重視	275	④ 不動産・動産	268	⑤ 海外投資状況	266	⑥ 地域別融資占率	264	⑦ 増加資産	263	⑧ 増加資産配分状況	262	⑨ 増加資産配分状況	261	⑩ 増加資産配分状況	260	⑪ 増加資産配分状況	259	⑫ 増加資産配分状況	258	⑬ 増加資産配分状況	257	⑭ 増加資産配分状況	256	⑮ 増加資産配分状況	255	⑯ 増加資産配分状況	254	⑰ 増加資産配分状況	253	⑱ 増加資産配分状況	252	⑲ 増加資産配分状況	251	⑳ 増加資産配分状況	250
① 関連会社	278	② 主要保険商品	276	③ 親会社依存を脱皮、採算性を重視	275	④ 不動産・動産	268	⑤ 海外投資状況	266	⑥ 地域別融資占率	264	⑦ 增加資産	263	⑧ 増加資産配分状況	262	⑨ 増加資産配分状況	261	⑩ 増加資産配分状況	260	⑪ 増加資産配分状況	259	⑫ 増加資産配分状況	258	⑬ 増加資産配分状況	257	⑭ 増加資産配分状況	256	⑮ 増加資産配分状況	255	⑯ 増加資産配分状況	254	⑰ 増加資産配分状況	253	⑱ 増加資産配分状況	252	⑲ 増加資産配分状況	251	⑳ 増加資産配分状況	250

[凡　例]

〔2-4 総新契約占率

(単位: %, 位)

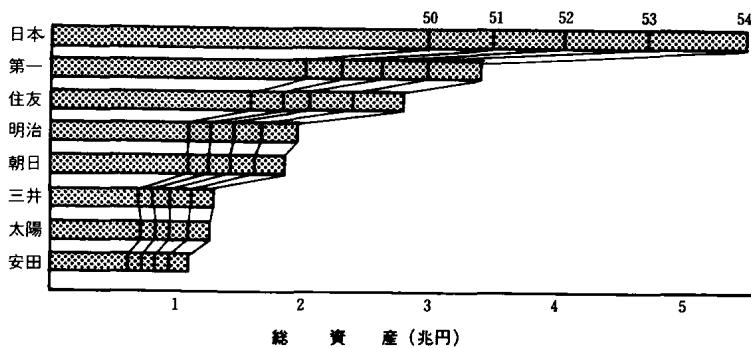
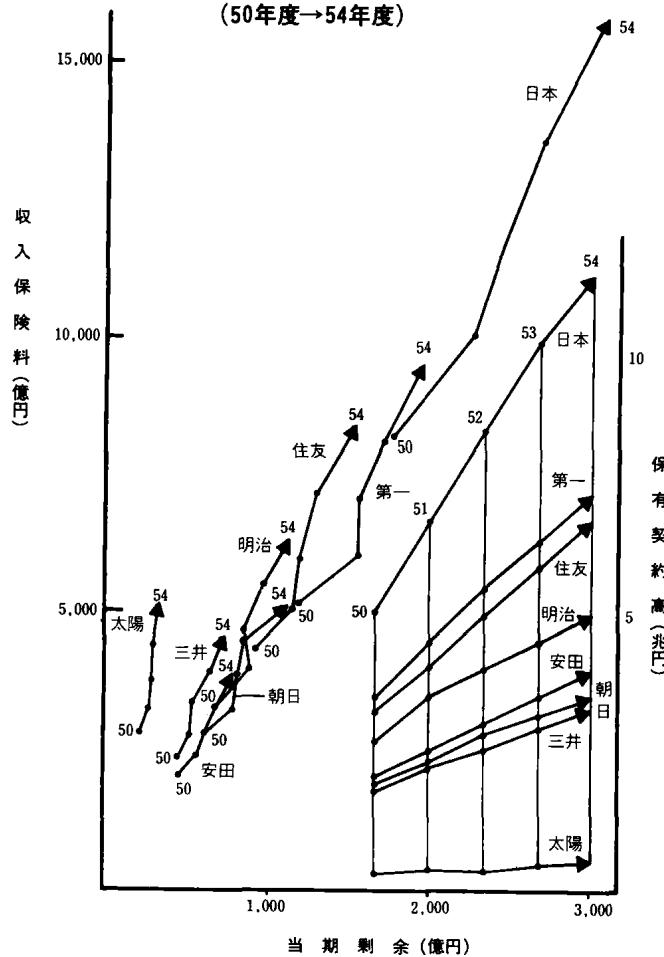
	50 (1975)		51 (1976)		52 (1977)		53 (1978)		54 (1979)	
	占率	順位								
日本 (3月)	21.7	1	24.6	1	24.0	1	23.0	1	21.5	1
第一 (3月)	14.7	3	13.9	3	15.8	2	17.4	2	17.5	2
住友 (3月)	16.8	2	14.9	2	14.7	3	14.5	3	14.3	3
安田 (3月)	6.8	5	4.6	7	4.8	7	5.3	7	5.8	5
全社計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	

1. 数値はすべて決算数字に拠った。
2. 年度は、4月から翌3月までを1年間とした。
3. 時系列は「毎年」とし、50年度～54年度の5カ年間を基準とした。
指標によりそれ以前の数値が必要なときは、その都度掲示した。
4. 企業名下の()内は決算月を表わし、各章はじめの8社比較「表」中に記載した。
5. 「表」右肩の単位は、金額は百万円を基本とし、各単位未満は原則として四捨五入した。また%は小数点第2位を四捨五入、倍率は小数点第3位を四捨五入した。
6. 数値は(株)保険研究所『インシュアランス生命保険統計号』(各年度)、(財)生命保険文化センター『生命保険ファクトブック』(各年度)、(社)生命保険協会『生命保険事業概況』(各年度)、『生命保険事業のあらまし』および対象各社『現況』『報告書』をベースとし、その他資料に拠った場合は、折に触れ、その出所を明記した。
7. 本書は表紙掲載の8社比較を中心に構成したが、指標により全社、または15社にも言及した。
8. マイナスは「▲」で示した。
9. 企業名はいずれも5字以内に略し、配列は54年度総資産高順位により、第1位企業より下位企業へ配列した。
10. 本文内容は、昭和55年10月末時点のものである。

■第1部■

生命保険業界とその特性

生命保険業界上位 8 社の過去 5 年間業績推移
(50年度→54年度)



産業としての特徴

生命保険業の発展は経済の発展と密接に関連している。わが国が「経済大国」として興隆し、国民の生活水準が高まるにつれて、生命保険に対するニーズも高度化し、「生命保険大国」となったことは、この密接な関連の象徴であつた。

しかし、余りにも巨大な量的発展はその質的転換をもたらす。今日の生命保険業には幾多の問題が提起されてきている。その底流をなす動きは、いわゆる船団行政からの脱却であり、競争原理の導入である。

生命保険商品は、大数法則による事故発生確率の客観性に基づいて構成された保険サービスという無形の商品で、その生産は即販売であり、また特許性を欠くところから、これを取扱う生命保険業は、自らが担う企業リスクの面で、一般企業とは大いに異なる。できるだけ大きな危険団体さえ構成すれば、そのこと自体が企業経営の安定性を高めることとなる。大量の外務員による大量の販売が志向されるゆえんである。

他方、不特定多数人による危険団体の構成規模が巨大化するにつれ、その社会性・公共性、また独特的の経営形態たる相互会社の在り方が問われてくる。保険コンシューマリズムの動きである。

① 日本経済と生命保険業——量的関連——

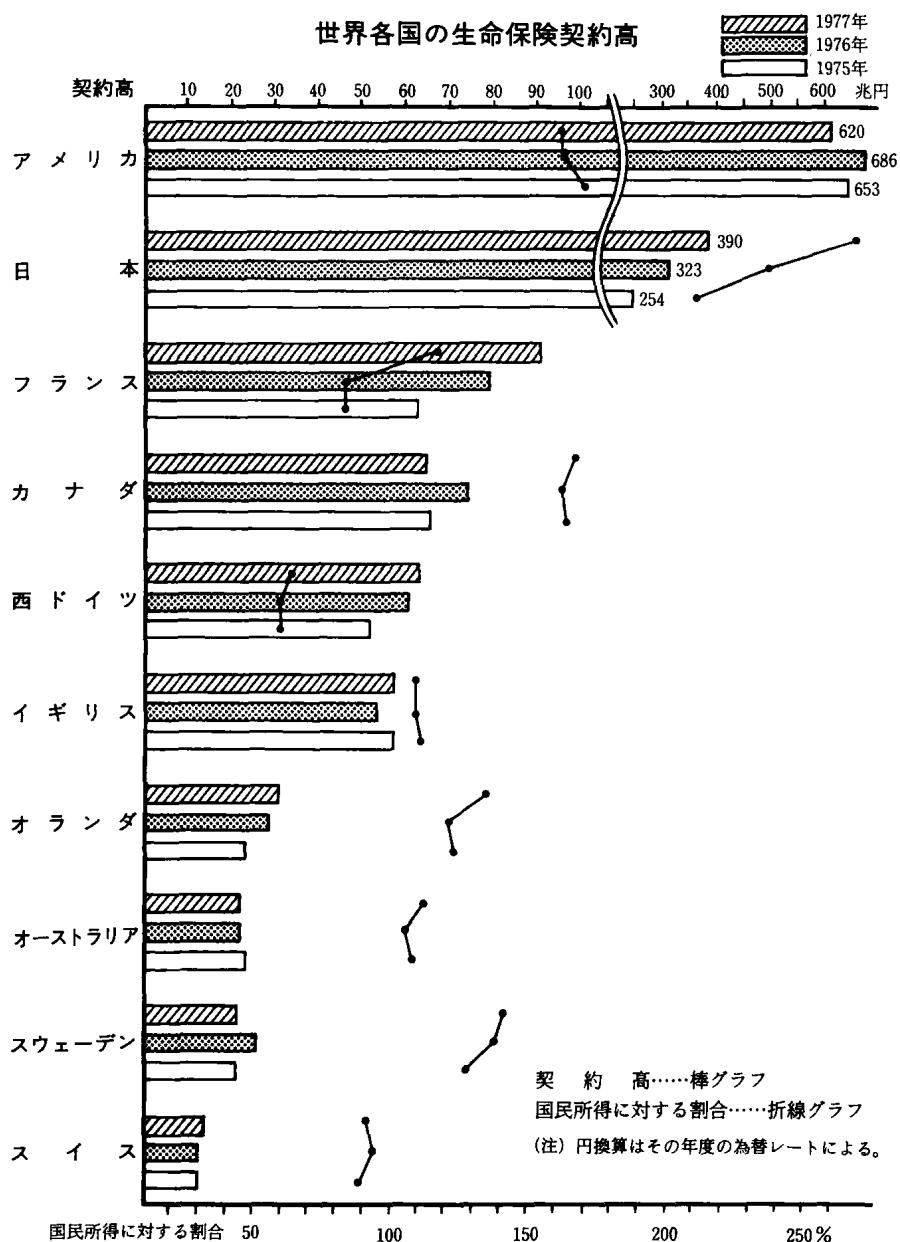
生命保険は、何よりもまず、一家の稼ぎ手の死亡や退職などによる収入の途絶に対し、また病気や傷害による不意の出費に対して、家庭生活の経済的（金銭的）保障を確保するためのひとつの経済的仕組みである。生命保険によって、死亡に伴う葬儀費・相続税などの出費、住宅ローンなどの未払債務残額の返済費用、あるいは子女の教育・結婚資金などを含めた遺族の生活維持資金が確保され、あるいは老後の生活資金をはじめ、持家・教育・結婚などのための要所資金の計画的準備、重い病気や傷害による不意の出費に対する備えが用意されもする。

かつては、これら経済的保障の機能は、家族共同体的機構によって担われてきた。しかし、資本主義社会の形成過程のなかで家庭共同体的機構は崩れ、労働力の提供によって家庭生活を維持する一般大衆の無産階級化が進んだ。労働力の提供者の死亡は、直ちに家庭生活の困窮化・破壊をもたらすものとなつた。この困難に対して経済的保障機能をもたらすものとして、近代的生命保険の仕組みが開発されてきたわけである。

日本は、日本の敗戦とともに壊滅し、日本経済は、昭和三十一年度の経済白書で「もはや戦後ではない」と語られたが、ちょうどその頃、生命保険業も戦前水準（昭和九—十一年）の回復をみせはじめた。新契約高では昭和三十二年、保有契約高では昭和三十三年、総資産では昭和三十六年のことであつた。

G N P でみた日本経済は、昭和四十六年には自由世界で第二位の「経済大国」となるまでに興隆した。この経済の発展と国民生活水準の向上とともに、生命保険に対するニーズも高度化・多様化してきたが、これへの対応を通じて、生命保険業の発展も著しかつた。保有契約高は、昭和四十一年度に三〇兆四四四四億円という水準に達し、ドル換算では、アメリカに次ぐ世界第二位の「保険大国」となつた。

1 産業としての特徴



(注) インシュアランス生命保険統計号(昭和55年度版)より転載。